

2021年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年9月13日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926  
 四半期報告書提出予定日 2021年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第3四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	1,565	12.8	41	146.5	51	105.9	30	—
2020年10月期第3四半期	1,388	△9.5	16	△70.9	25	△55.1	0	△98.7

(注) 包括利益 2021年10月期第3四半期 30百万円( —%) 2020年10月期第3四半期 0百万円( △99.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	26.85	25.96
2020年10月期第3四半期	0.39	0.37

(注) 2021年10月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「—」と記載をしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第3四半期	1,136	478	42.1
2020年10月期	1,148	446	38.9

(参考) 自己資本 2021年10月期第3四半期 478百万円 2020年10月期 446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年10月期	—	0.00	—		
2021年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,969	6.3	22	10.5	20	△33.2	9	481.7	8.46

直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P. 8「2(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期3Q	1,136,000株	2020年10月期	1,134,000株
② 期末自己株式数	2021年10月期3Q	242株	2020年10月期	242株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期3Q	1,135,494株	2020年10月期3Q	1,131,285株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化しており、度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の実施により、経済活動や日常生活にも引き続き様々な制約や制限を受ける等厳しい状況が続いております。同感染症のワクチン接種が進んでいるものの、ウイルスの変異株が拡大するなど、大都市圏を中心に感染者数の急速な増加が見られ、依然として収束時期を見通すことは難しく、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2021年5月から7月までの3ヶ月間において、らん鉢取扱金額は1,031百万円（前年同期比16.2%増）と、新型コロナウイルス感染症が発生する前の一昨年とほぼ同等の取扱金額で推移しております。また、毎年母の日でお花の一般贈答需要が高まる5月度単月の取扱金額は、前年同期比45.4%増と、大幅増で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、各種イベント開催の延期や中止、また同様にブライダルの延期や再延期も多くあったことから受注件数が伸び悩みました。一方で、主力の法人贈答用胡蝶蘭は新規顧客開拓及び既存顧客への提案を引き続きオンラインと対面のハイブリッド型の営業体制で取り組むことにより、お客様のニーズに寄り添ったサービスの提供を継続したことで、売上高は前年同期比微増で推移いたしました。

ナーセリー支援事業におきましては、オリジナル園芸資材の販売強化に注力するとともに、新規顧客開拓を順調に進めることが出来ました。また、フューネラル事業におきましても新規顧客開拓に注力し、取引先を順調に増やすことが出来たことなどにより、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,565,422千円（前年同期比12.8%増）、営業利益は41,506千円（前年同期比146.5%増）、経常利益は51,654千円（前年同期比105.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30,490千円（前年同期比6,878.3%増）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

#### (フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、ブライダルの延期、再延期や、各種イベント開催の見送り等により受注件数が減少いたしました。一方で、主力の法人贈答用胡蝶蘭は、既存顧客先への訪問や対面での提案営業が困難な状況下ではありますが、ハイブリッド型の営業体制の強化を図るなど、可能な限りお客様のニーズに寄り添ったサービスの提供を継続するよう取り組みました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は1,012,728千円（前年同期比8.5%増）となりました。

#### (ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き胡蝶蘭生産者への当社オリジナル園芸資材の販売強化に注力したことや、既存顧客からのご紹介等によって、継続的なお取引を頂ける新規顧客が少しずつ増加したことなどにより、売上高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は443,302千円（前年同期比16.3%増）となりました。

(フューネラル事業)

葬儀業界における環境は、大都市圏を中心に家族葬や密葬等、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小化が続き、葬儀単価が下落傾向にあるところに、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、葬儀参列者の減少や葬儀規模の縮小が続き、業界全体としても引き続き大きな影響を受けております。しかしながら、フューネラル事業につきましては、引き続き新規顧客開拓の営業強化に注力し、新たな取引先を順調に増やすことが出来たことから、売上高は堅調に推移いたしました。

今後も既存取引先や葬儀業界関係会社との情報交換を積極的に行いながら、常に柔軟な対応を心がけていくよう取り組んでまいります。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は109,391千円（前年同期比48.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,136,055千円となり、前連結会計年度末と比べ12,508千円減少しました。

流動資産は979,887千円となり、前連結会計年度末と比べ35,456千円減少しました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が10,152千円、仕掛品が15,019千円増加した一方で、現金及び預金が50,684千円減少したことによるものであります。

固定資産は156,168千円となり、前連結会計年度末と比べ22,947千円増加しました。その主な要因は、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェアが20,969千円増加したことによるものであります。

(負債)

当3四半期連結会計期間末における負債合計は658,005千円となり、前連結会計年度末と比べ43,662千円減少しました。

流動負債は320,960千円となり、前連結会計年度末と比べ16,935千円増加しました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が4,721千円、賞与引当金が4,639千円、株主優待引当金が3,090千円それぞれ減少した一方で、買掛金が5,895千円、未払法人税等が16,229千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は337,044千円となり、前連結会計年度末に比べ60,597千円減少しました。その主な要因は、社債が10,000千円、長期借入金が49,866千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は478,050千円となり、前連結会計年度末と比べ31,153千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益30,490千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の業績予想につきましては、2020年12月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	623,780	573,095
受取手形及び売掛金	230,654	240,807
商品及び製品	38,075	36,442
仕掛品	112,163	127,183
原材料及び貯蔵品	153	153
その他	28,942	24,778
貸倒引当金	△18,425	△22,573
流動資産合計	1,015,343	979,887
固定資産		
有形固定資産	16,644	22,241
無形固定資産		
のれん	25,422	23,111
その他	9,098	27,704
無形固定資産合計	34,520	50,815
投資その他の資産		
その他	90,373	91,429
貸倒引当金	△8,318	△8,318
投資その他の資産合計	82,054	83,111
固定資産合計	133,220	156,168
資産合計	1,148,564	1,136,055
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,715	67,610
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	122,152	117,431
未払法人税等	2,352	18,582
賞与引当金	11,753	7,113
株主優待引当金	3,090	—
その他	82,962	90,222
流動負債合計	304,025	320,960
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	373,751	323,885
その他	3,891	3,159
固定負債合計	397,642	337,044
負債合計	701,668	658,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	140,188	140,336
資本剰余金	92,173	92,321
利益剰余金	214,001	244,492
自己株式	△465	△465
株主資本合計	445,898	476,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	997	1,365
その他の包括利益累計額合計	997	1,365
純資産合計	446,896	478,050
負債純資産合計	1,148,564	1,136,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年7月31日)
売上高	1,388,095	1,565,422
売上原価	796,128	909,418
売上総利益	591,967	656,004
販売費及び一般管理費	575,126	614,497
営業利益	16,840	41,506
営業外収益		
受取利息	64	255
受取配当金	71	25
受取助成金	11,936	9,213
持分法による投資利益	—	1,099
その他	1,095	1,876
営業外収益合計	13,168	12,470
営業外費用		
支払利息	1,213	1,776
持分法による投資損失	3,549	—
その他	160	545
営業外費用合計	4,922	2,321
経常利益	25,086	51,654
特別損失		
たな卸資産処分損	17,217	—
特別損失合計	17,217	—
税金等調整前四半期純利益	7,868	51,654
法人税、住民税及び事業税	3,615	18,072
法人税等調整額	3,816	3,092
法人税等合計	7,431	21,164
四半期純利益	436	30,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	436	30,490

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	436	30,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	367
その他の包括利益合計	△194	367
四半期包括利益	242	30,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	30,857
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生及び重要な変更はありません。